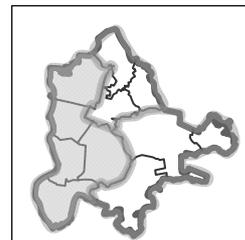


(4) 11 のまちの物語づくり

1) 水と親しめる川の手のまち

水と親しめる川の手のまちは、市域の西側に位置し、松戸地域・矢切地域・明地域・古ヶ崎地域・新松戸地域の5つの地域からなるまとまりです。



①松戸地域

【緑の現況】

- ・松戸駅を中心とした市内で最も大きな商業地を持つ地域です。
- ・地域の西部に江戸川、中央部に坂川・新坂川が南北に流れています。
- ・半数以上の公園が30年以上前に整備された地域です。
- ・市街地に緑は少ないですが、まちの背景に斜面林がみられる地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。

【緑の課題】

- ・市外から訪れる人が最も多い地域であるため、松戸市の顔としてふさわしい緑化による、美しい街並みづくりが求められます。
- ・建物が密集し緑化を行う場所が少ない地域であるため、市街地を流れる坂川や商業地の公開空地・歩道を活用した緑化を行うことが求められます。
- ・ヒートアイランドや、自動車の集中による空気の汚れなどを少しでも緩和させるための市街地の積極的な緑化が求められます。

* ヒートアイランド
冷房や自動車などの人間活動による熱の発生や、アスファルトやコンクリートが多く太陽熱が吸収・蓄積されやすいことにより、これらが集中する都市部だけが郊外に比較して温度が高くなる現象。これを防ぐために、緑地や風の通る道を都市につくることが効果的であるといわれている。

【計画のテーマ】

斜面林と江戸川に囲まれた緑花清流のまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照)

【計画の基本方針】

●駅周辺の効果的な緑化による松戸市の顔づくり

50 万都市にふさわしい、松戸の顔を創るため、街路樹や草花などにより効果的に緑化を進めます。

- ・駅前緑空間の整備
- ・再開発に伴う公開空地や商業地の魅力的な緑化
- ・アーバンオアシスの整備

●水辺を活用した地域内の回廊づくり

坂川・新坂川などの河川を活かして、社寺や公園を河川や街路樹でつなげます。

- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・松戸駅から江戸川へつながる道路緑化
- ・ゆとりある道路の整備と緑化の推進
- ・主要道路沿線の緑化推進

●市民が身近に親しめる様々な緑空間の形成

公園だけでなく、様々な花壇や広場をまちの中に整備していきます。

- ・地域公園：松戸中央公園のリフレッシュ
- ・みどりの市民力による街区公園のリフレッシュ
- ・雷電神社・竹ヶ花雷電湧水・こどもの遊び場が一体になった空間の活用
- ・子どもの遊び場・生産緑地地区・公有地を活かした街区公園の整備
- ・みどりの市民力による戸定が丘歴史公園の活用
- ・クロスロードパークの設置

* 公開空地
建物などの敷地内に確保する公開制の高い空地。



松戸中央公園



戸定が丘歴史公園

- ・ポケット花壇の設置
- ・市民農園の開設支援
- ・千葉大園芸学部の緑の情報・交流拠点としての活用

●市街地の環境を支える江戸川・斜面林の保全・活用

市街地の景観・環境を守るため、江戸川と金山神社から千葉大学周辺の斜面林を保全・活用します。

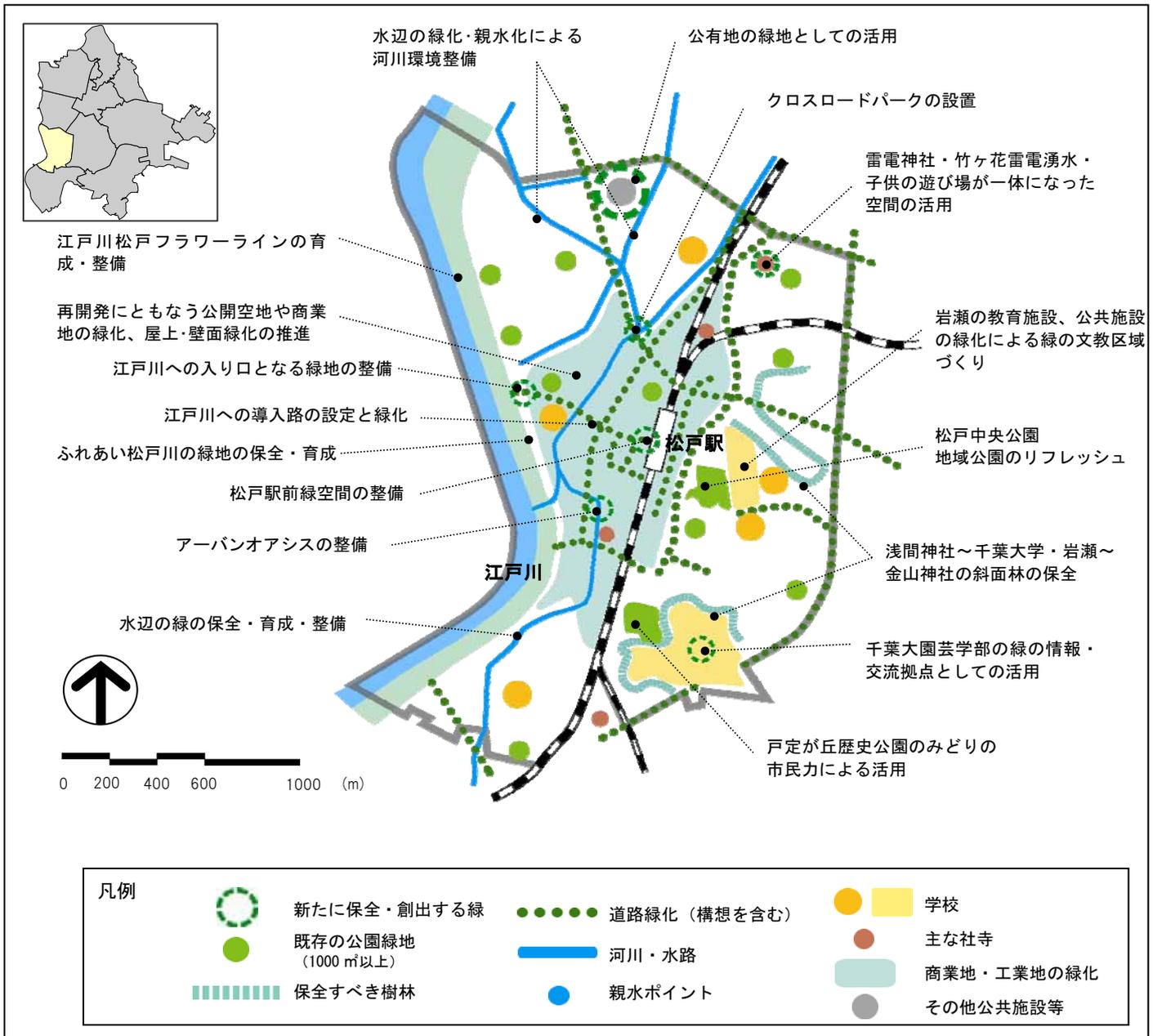
- ・江戸川松戸フラワーラインの育成・整備
- ・ふれあい松戸川と沿川緑地の保全・育成
- ・坂川の水辺の緑の保全・育成・整備
- ・江戸川への入り口となる樋野口付近の緑地の整備
- ・浅間神社～千葉大学・岩瀬～金山神社の斜面林の保全
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導

●市街地の環境をよりよくする緑化の推進

市街地の環境を向上させるため、屋上・壁面緑化や公共施設の緑化を推進します。

- ・屋上・壁面緑化の推進
- ・聖徳大学など、岩瀬の教育施設、公共施設の緑化による緑の文教区域づくり

【計画の方針図】松戸地域



②矢切地域

【緑の現況】

- ・台地上部には、主要地方道市川・松戸線沿いの従来からの住宅地と、二十世紀が丘の整備の行き届いた住宅地がみられます。
- ・江戸川沿いの低地部には農地が広がり、西に江戸川の堤防、東に矢切の斜面林が見られ、農地の中央部には坂川が流れる、広大な景観をもっています。
- ・半数以上の公園が 30 年以上前に整備された地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・松戸市の代表的な樹林地である、矢切の斜面林や浅間神社の樹林があります。
- ・数多くの社寺や野菊の墓、矢切の渡しといった、松戸の歴史や文化を伝える場所があります。
- ・東京外かく環状道路(外かん)が整備中です。

【緑の課題】

- ・JR常磐線からも良く見え、松戸市の緑のイメージを創り出している、矢切の斜面林や江戸川沿いの農地の景観を守る必要があります。
- ・坂川などの水辺や樹林がもつ良好な環境を保全しながら、適切な土地利用を誘導していく必要があります。
- ・過密化しがちな台地上部に、ゆとりある生活空間を創り出す必要があります。
- ・特徴的な観光資源となる歴史的遺産等の資源を活かした公園づくりが行えます。

【計画のテーマ】

水辺と斜面林がつなぐ自然と人が交流するまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照) ●川のレクリエーション交流拠点(P36 参照)

【計画の基本方針】

●松戸のシンボルである矢切斜面林の保全

JR常磐線・北総鉄道などから見え、良好な景観をもつ矢切・栗山の斜面林を保全します。

- ・矢切・栗山の斜面林、浅間神社の樹林に対する特別緑地保全地区の指定
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導
- ・外かんの整備に伴う斜面林のみどりの市民力による復元

●水と緑が織りなす快適な環境の形成

江戸川・坂川・矢切の斜面林によってつくられる、快適な環境を持つ生活空間を形成します。

- ・坂川の河川環境の保全・整備
- ・柳原親水広場の活用
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・坂川親水広場を活かしたクロスロードパークの整備
- ・江戸川サイクリングロードの整備
- ・外環上部を利用した(仮称)矢切市民の森と広場の整備
- ・江戸川スーパー堤防の活用



坂川親水広場

●ゆとりある住宅地での緑化の推進

台地上のゆとりある住宅地を中心に、緑化や公園の整備を推進します。

- ・地域公園：柿ノ木台公園のリフレッシュ
- ・生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
- ・駅前緑空間の整備
- ・街路樹・生垣による沿道緑化の推進
- ・保全樹林地区等・保護樹木の指定促進



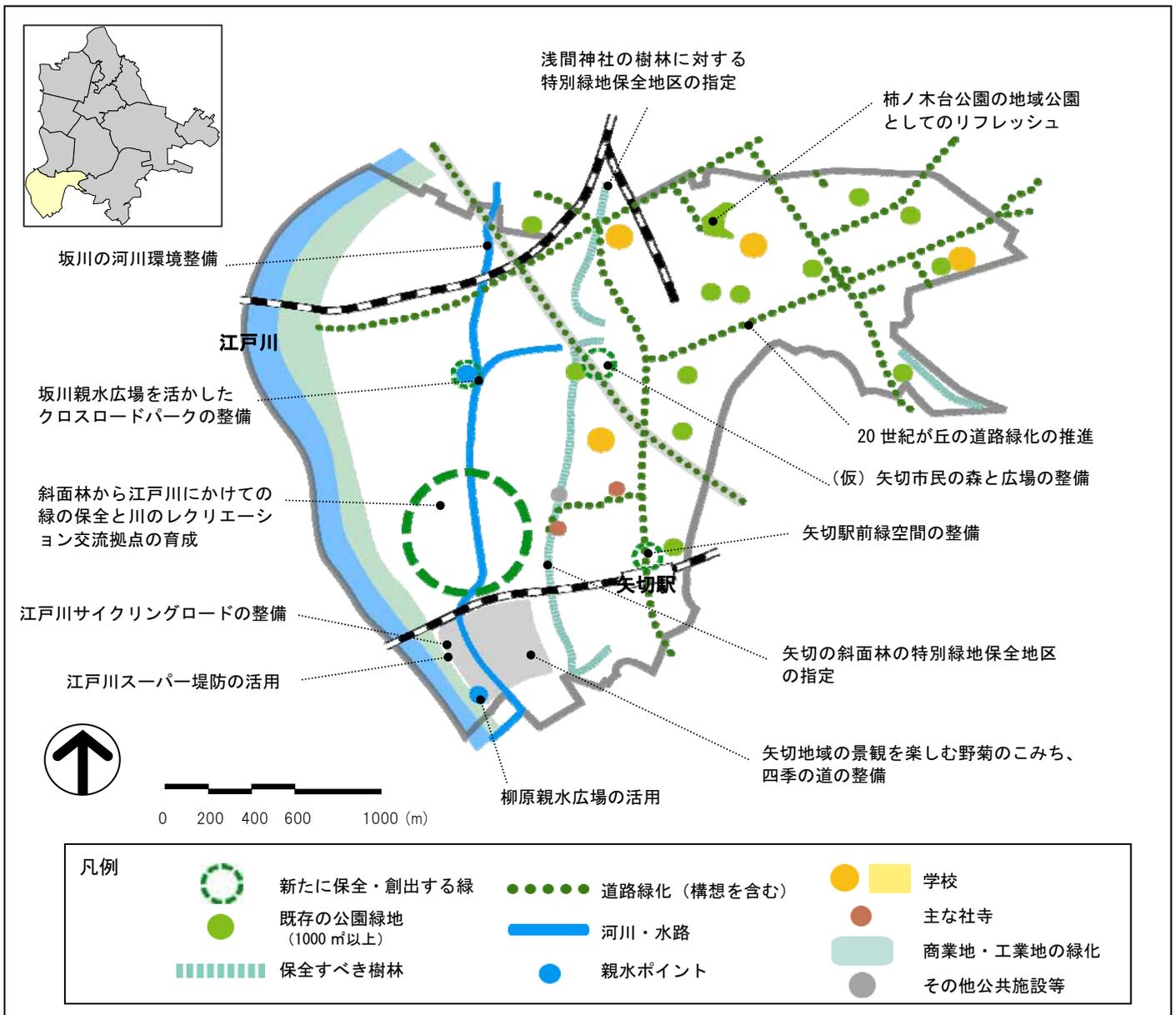
柿ノ木台公園

●河川・農業・歴史を活かした緑の観光空間の創造

市南西部の矢切地区では、斜面林、農地、江戸川や坂川の河川、矢切の渡しや野菊の墓文学碑などの観光資源を活かしながら、川の文化を再現して市内外の人々が交流する川のレクリエーション交流拠点を作成します。

- ・川のレクリエーション交流拠点の育成
- ・矢切ブランドのネギの生産
- ・市民農園の開設支援

【計画の方針図】 矢切地域



③明地域

【緑の現況】

- ・地域の南東部に国分川が流れ、これに沿ってまとまった斜面林がみられる地域です。
- ・北部にも比較的まとまった斜面林や湧水があります。
- ・道路などの基盤整備が行き届いた住宅地や工業地が見られる一方、一部で緑に関する整備が不足している住宅地もみられます。
- ・半数以上の公園が30年以上前に整備された地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・市内の中でも学校や社寺が比較的多い地域です。

【緑の課題】

- ・積極的な公園整備はもちろん、数多くの公共施設や社寺などの活用が求められます。
- ・面積の大きな斜面林や湧水を活かした自然環境とのふれあいの場づくりが求められます。
- ・魅力的な環境づくりのための住宅地の緑化と、周辺の自然や生活環境への影響をできるだけ少なくするための工場の緑化が求められます。

【計画のテーマ】

公園と緑花で彩る快適な生活が実感できるまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照)

【計画の基本方針】

●社寺・文教施設を中心とした、緑の空間の確保

地域に数多くある社寺林や学校などを活かして、緑の多い空間を整備します。

- ・本福寺・カンスケ井戸・前田公園・斜面林の一体的な活用
- ・学校などと公園緑地との一体的な活用
- ・学校などの接道部緑化の推進

●まちの中の自然を楽しめる空間の確保

住宅地の中の斜面林や湧水を活かした、自然を楽しむことのできる空間を確保します。

- ・北松戸駅周辺の斜面林の景観保全のための開発の規制・指導
- ・松戸新田（大作）、和名ヶ谷（清水）の樹林の市民緑地の指定
- ・市民緑地での緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・保全樹林地帯等の指定促進
- ・自然豊かな国分川の保全・活用
- ・市民農園の開設支援
- ・上本郷宮下湧水の活用



カンスケ井戸からの緑道

●ゆとりある住宅地と工場の緑化の推進

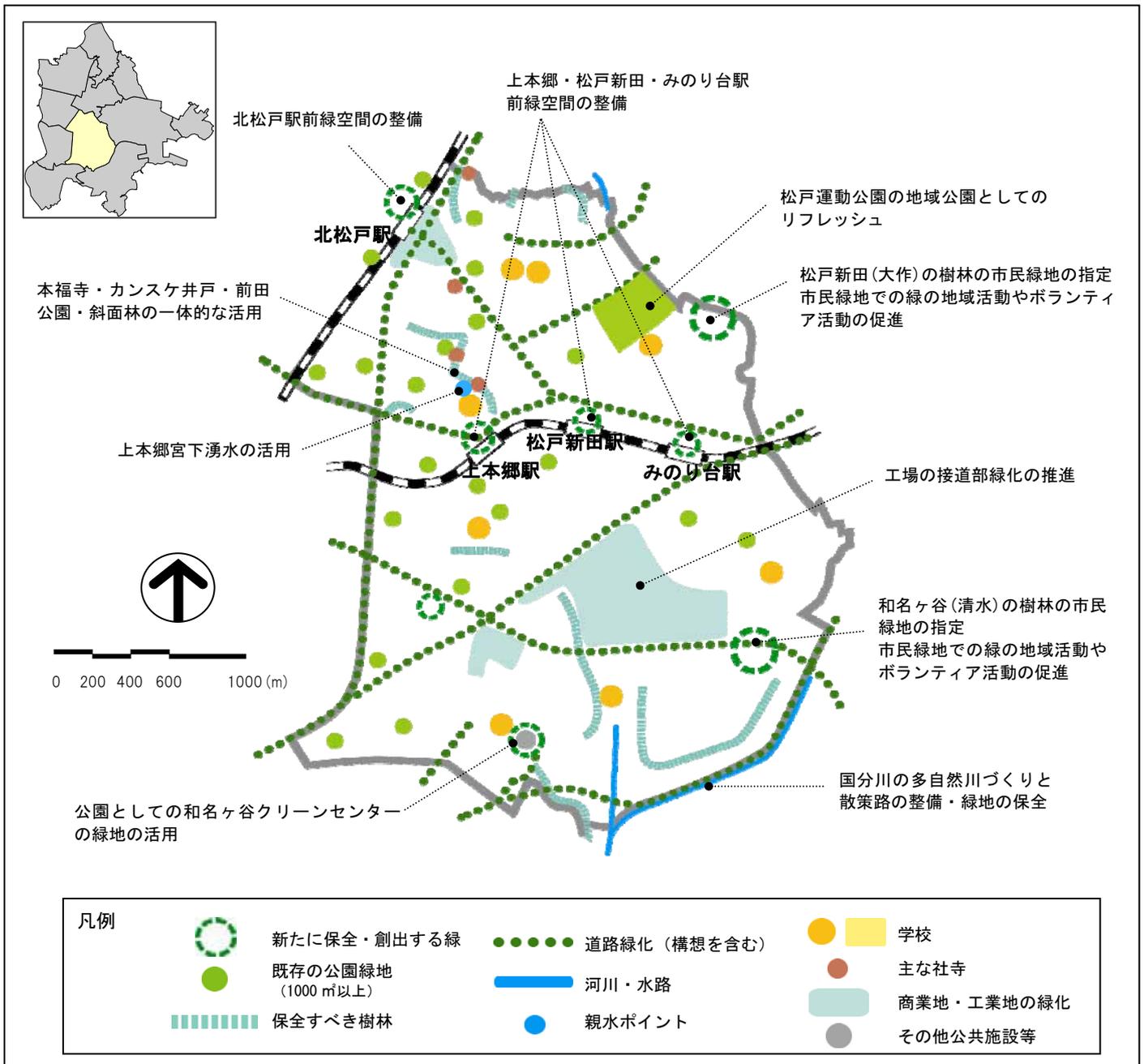
台地上のゆとりある住宅地や工場を中心に、緑化を推進します。

- ・生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
- ・地域公園：松戸運動公園のリフレッシュ
- ・公園としての和名ヶ谷クリーンセンターの活用
- ・幹線道路緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・生垣緑化の推進
- ・街と健康を楽しむ緑と水辺の回廊づくり
- ・住宅地での緑地協定の促進
- ・工場の接道部緑化の推進



和名ヶ谷クリーンセンターの緑地

【計画の方針図】明地域



④古ヶ崎地域

【緑の現況】

- ・西部に江戸川、地域中心部を坂川、東部に新坂川が南北に流れており、その他の水路などを含めると豊かな水辺環境を持つ、生産緑地などの農地の多い地域です。また、坂川・新坂川を中心に積極的な緑化を行っています。
- ・江戸川低地部は農地の宅地化が進み、公園や道路などの整備が不足しています。
- ・住宅地と北松戸駅の間に工業団地を挟んでいるため、普段の生活の中で人の多く集まる、地域の中心といえる場所の少ない地域になっています。
- ・農地などの面的に広がる緑は多く、生産緑地地区も多く指定されていますが、斜面林のような立体的に目に映る緑は少ない地域です。
- ・特に公園が不足している地域です。

【緑の課題】

- ・豊富な農地を活かした魅力的な緑の空間づくりが求められます。
- ・豊富な水辺を活かした河川環境整備を、更に推進していくことが求められます。
- ・地域内の基盤の整備と歩調を合わせて、魅力やゆとりのある住宅地を創るための緑化を推進する必要があります。
- ・生産緑地地区などを活用し、公園緑地の整備をすることが求められます。

【計画のテーマ】

水辺と花で創る快適なまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41)

【計画の基本方針】

- 農地などを活用した積極的な公園の整備・活用
豊富な生産緑地地区などを活かして、不足する公園を整備します。
 - ・地域公園：生産緑地地区を活用した地区公園の整備
 - ・生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
 - ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
 - ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
 - ・市民農園の開設支援
- 水辺を活用した地域の回廊づくり
豊富な河川や水路を活かして、公園や地域の間を河川でつなぐ歩行者空間を創ります。
 - ・坂川プロムナードの整備
 - ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
 - ・水辺の街を楽しむ緑と水辺の回廊づくり
 - ・河川における地域活動の促進
 - ・江戸川松戸フラワーラインの育成・整備
 - ・豊かな水田風景の保全



坂川プロムナード

●商業地・住宅地で一体的に進める花のまちづくり

地域の一体感を創るため、商業地や住宅地で花による緑化を推進します。

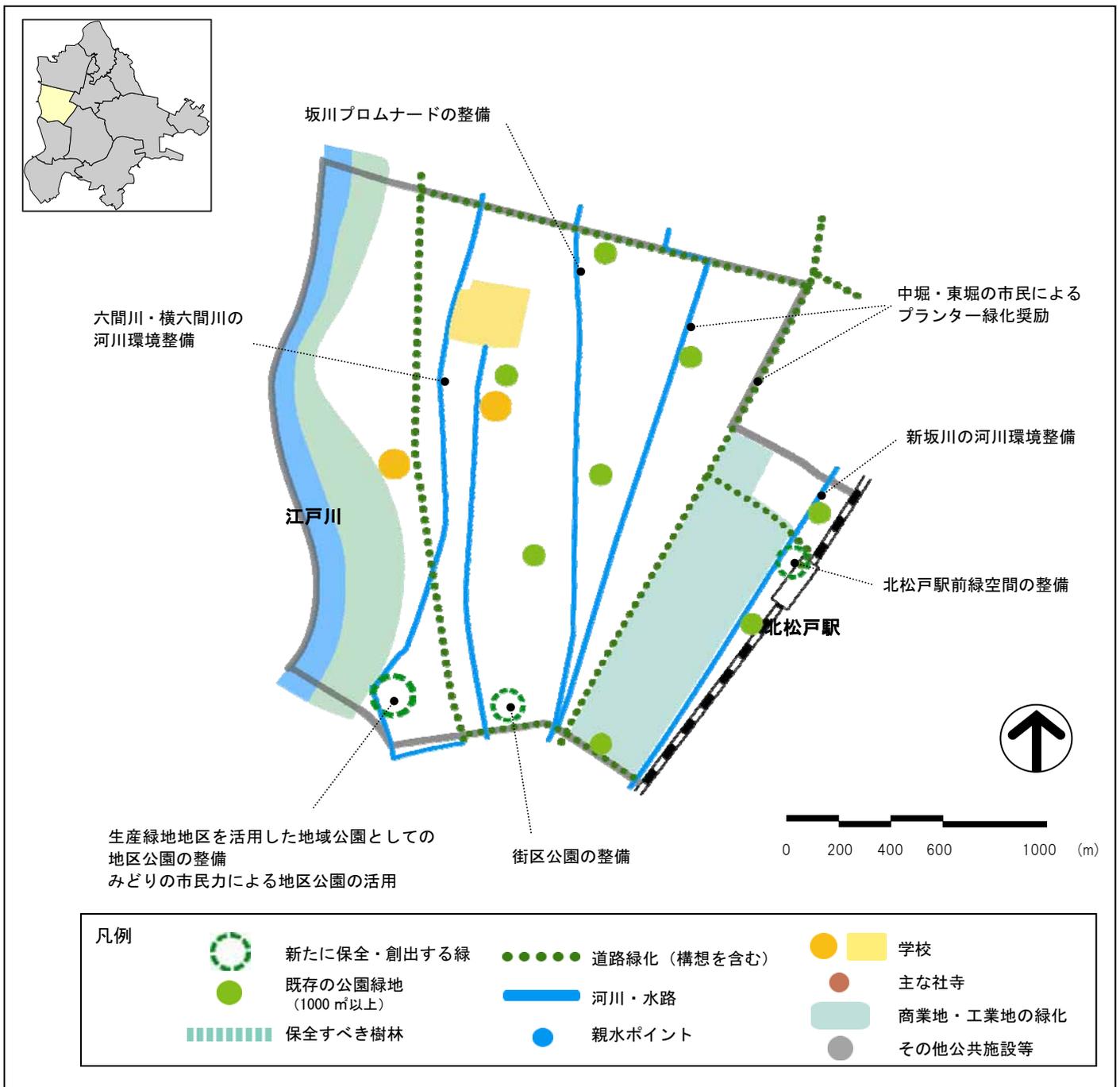
- ・中堀・東堀の市民によるプランター緑化の推進
- ・街路樹・生垣による沿道緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・住宅地での緑地協定・緑化推進モデル地区協定締結の促進
- ・商業地の花による緑化の推進
- ・駅前緑空間の活用

●工業地の緑化の推進

北松戸の工業地での緑化を推進します。

- ・工場の接道部緑化の推進

【計画の方針図】古ヶ崎地域



⑤新松戸地域

【緑の現況】

- ・公園や街路樹などがよく整備された中高層の住宅地が中心の地域です。一方で、緑に関する整備が不足している住宅地もみられます。
- ・新松戸駅を中心とした良好な生活の場のイメージを持った地域です。
- ・地域の西部には矢切に次ぐ広大な農地がみられます。
- ・西部に江戸川が、中央を坂川が南北に流れています。
- ・街区公園の不足する場所がありますが、学校のグラウンドや中高層住宅の広場などが多数存在します。
- ・中高層の住宅地を中心とした住民による緑化が盛んな地域です。

【緑の課題】

- ・新松戸地域の持つ良好な生活の場のイメージを保ちながら、より住民の生活や自然にやさしい街にしていくため、今後も積極的な緑化が求められます。
- ・市民が河川・農地などの豊富な資源を積極的に活用できるよう、街路樹や河川沿いの散策路でつながる公園などの緑の空間を整備することが求められます。

【計画のテーマ】

緑と水辺が織りなすさわやかなまち

- 江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●いきいきふれあい健康交流拠点(P36 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照)

【計画の基本方針】

●生活のにぎわいを演出する緑化の推進

新松戸駅周辺の生活のにぎわいを、より魅力的にしていくための緑化を推進します。

- ・道路緑化の推進
- ・街路樹や生垣による沿道緑化の推進
- ・緑地協定の促進
- ・駅前緑空間の整備

●水辺を活用した、ゆとりある地域の回廊づくり

坂川・新坂川・坂川放水路などを活かして、公園や街をゆとりある歩行者空間を持った水辺でつなぎます。

- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・街と水辺をつなぐ緑と水辺の回廊づくり
- ・新坂川沿いの桜並木の保全
- ・坂川沿いのハナモモ並木の保全・育成

●豊富な農地と河川を活用した緑空間の活用

市北西部の旭町では、江戸川と坂川などの水辺と小中学校が連携しながら、市民のスポーツや高齢者の健康づくりを通じて、人や自然が触れあう場として、いきいきふれあい健康交流拠点の形成に努めます。

- ・旭町 いきいきふれあい健康交流拠点の形成
- ・市民農園の開設支援
- ・地域公園：新松戸中央公園のリフレッシュ
- ・緑の地域活動による新松戸中央公園の維持・管理



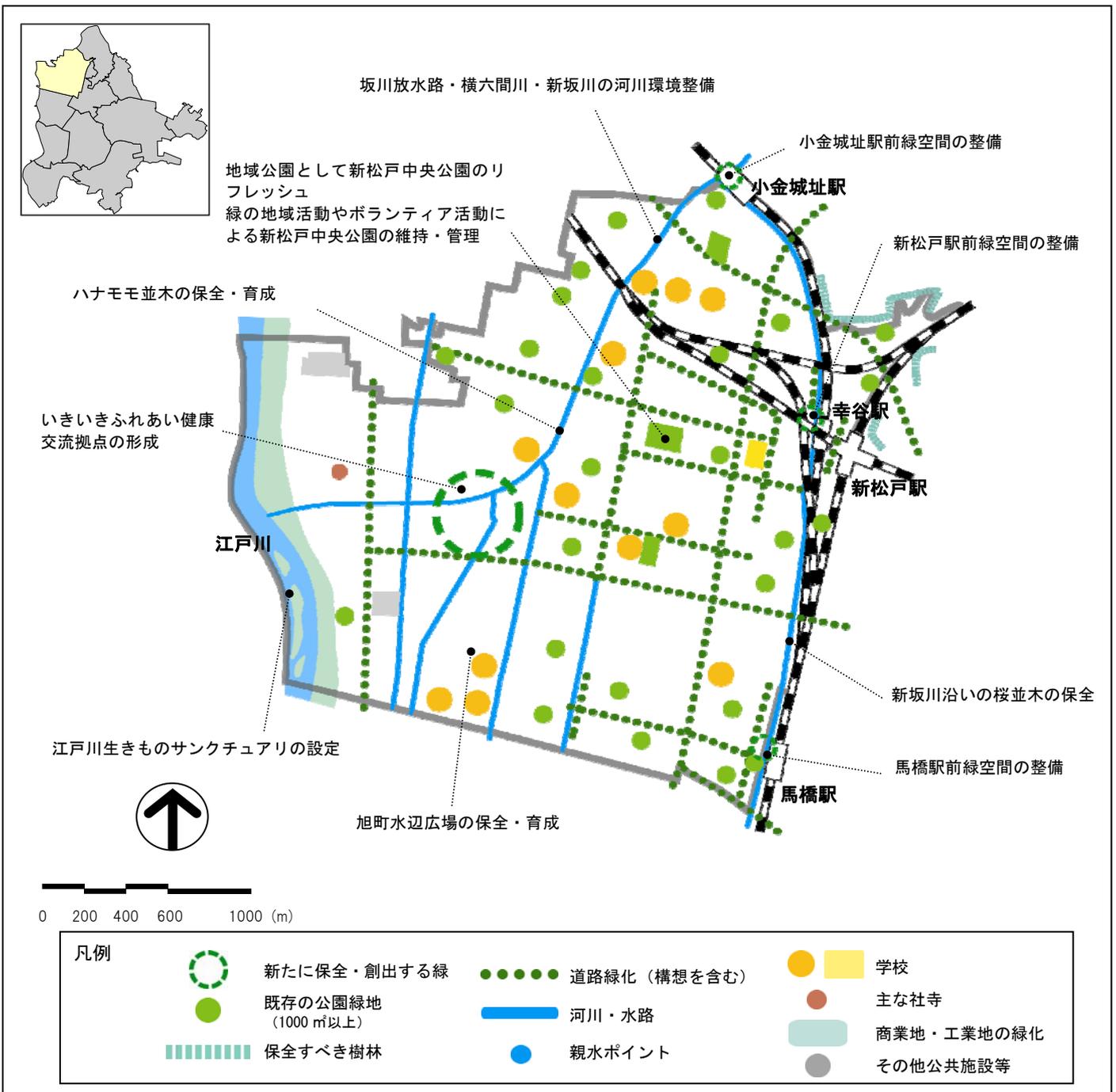
新松戸中央公園

- ・子どもの遊び場・生産緑地地区を活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園・街路樹・河川の住民による緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・江戸川生きものサンクチュアリの設定
- ・川の一里塚（主水）の活用



江戸川生きものサンクチュアリ

【計画の方針図】新松戸地域



2) 風薫る歴史のまち

風薫る歴史のまちは、市域の北側に位置し、小金地域・馬橋地域・小金原地域の3つの地域からなるまとまりです。



⑥馬橋地域

【緑の現況】

- ・公園や街路樹がよく整備された台地上部の住宅地と、旧水戸街道や起伏に富んだ地形に沿って形成された従来からの住宅地がみられます。
- ・馬橋駅東口周辺では緑の空間が依然少ない状況です。
- ・密集した住宅地のため農地が少なくなっています。一方で、地域全体に比較的まとまった斜面林や湧水があります。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・市民活動による樹木の保全が、関さんの森で行われています。

【緑の課題】

- ・複雑な地形にともなう斜面林や湧水を活かした、緑の空間の確保が求められます。
- ・積極的な公園整備はもちろん、公共施設や社寺などの活用が求められます。
- ・比較的緑化の余地の多い台地上の住宅地について積極的な緑化の推進が求められます。

【計画のテーマ】

変わりゆく自然環境を緑でつなぐまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照)

【計画の基本方針】

●斜面林・湧水や多様な地形を活かした空間の確保

複雑な地形にともなった斜面林や湧水を活かして、自然を楽しむことのできる空間を確保します。

- ・市民活動による保全林（関さんの森）の特別緑地保全地区の指定
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導
- ・保全樹林地帯等の指定促進
- ・湧水の環境整備と湧水を巡る緑と水辺の回廊づくり
- ・市民農園の開設支援

●社寺・文教施設を中心とした、緑の空間の確保

社寺林や学校などを活かして、緑の多い空間を整備します。

- ・学校などと公園緑地との一体的な活用
- ・学校などの接道部緑化の推進
- ・社寺林を活用した緑地の確保



馬橋北竜房湧水

●ゆとりある住宅地での緑化の推進

台地上のゆとりある住宅地を中心とした緑化を推進します。

- ・地域公園：市街化調整区域での地区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
- ・主要道路や沿道の緑化の推進
- ・生垣緑化の推進
- ・緑地協定の促進
- ・子どもの遊び場、生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
- ・駅前緑空間の活用



八ヶ崎桜通り

【計画の方針図】馬橋地域



⑦小金地域

【緑の現況】

- ・複雑な地形を持ち、自然と街が織りなす景観を見ることのできる地域です。
- ・公園や街路樹がよく整備された北部の住宅地と、旧水戸街道や起伏に富んだ地形に沿って形成された従来からの住宅地がみられます。
- ・本土寺・東漸寺・小金城址など松戸市の歴史を残す場所の多い地域です。
- ・地域の北部を囲むように坂川・富士川が流れています。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・旧水戸街道沿いでは緑の空間が依然少ない状況です。
- ・本土寺と東漸寺の参道につながる北小金駅周辺が地域の生活の中心地となっています。
- ・他地域と比較して、まとまった樹林地が多くみられます。

【緑の課題】

- ・歴史のまちの印象を強いものとしていくため、豊富な歴史的遺産等の資源を活かした公園緑地の確保が求められます。
- ・河川や湧水などの水辺を活かした、市民が水辺と触れあえる空間の確保が求められます。
- ・歴史的遺産等の資源を住民が効果的に活用できるよう、社寺・樹林・湧水を、街路樹・河川などにつないでいくことが求められます。

【計画のテーマ】

緑をたどりながら歴史と文化にふれあえるまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●ふるさと歴史ゾーン(P39 参照)

【計画の基本方針】

●歴史的文化的な緑の資源の積極的な保全・活用

歴史のまちの印象を強くしていくため、本土寺・東漸寺などの社寺林の保全を行います。

- ・本土寺・東漸寺の樹林に対する特別緑地保全地区の指定
- ・北小金駅北口緑地（本土寺参道）の緑の維持
- ・地域公園：近隣公園の整備
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導

●地域を囲む自然を楽しめる水辺空間の確保

北部の河川の水辺と河川沿いの豊富な湧水を一体的に体験できる空間を整備します。

- ・富士川親水広場の活用
- ・富士川沿いの散策路の活用
- ・市民農園の開設支援
- ・幸田湧水の活用



東漸寺

●地域内の緑を有機的につなげる回廊づくり

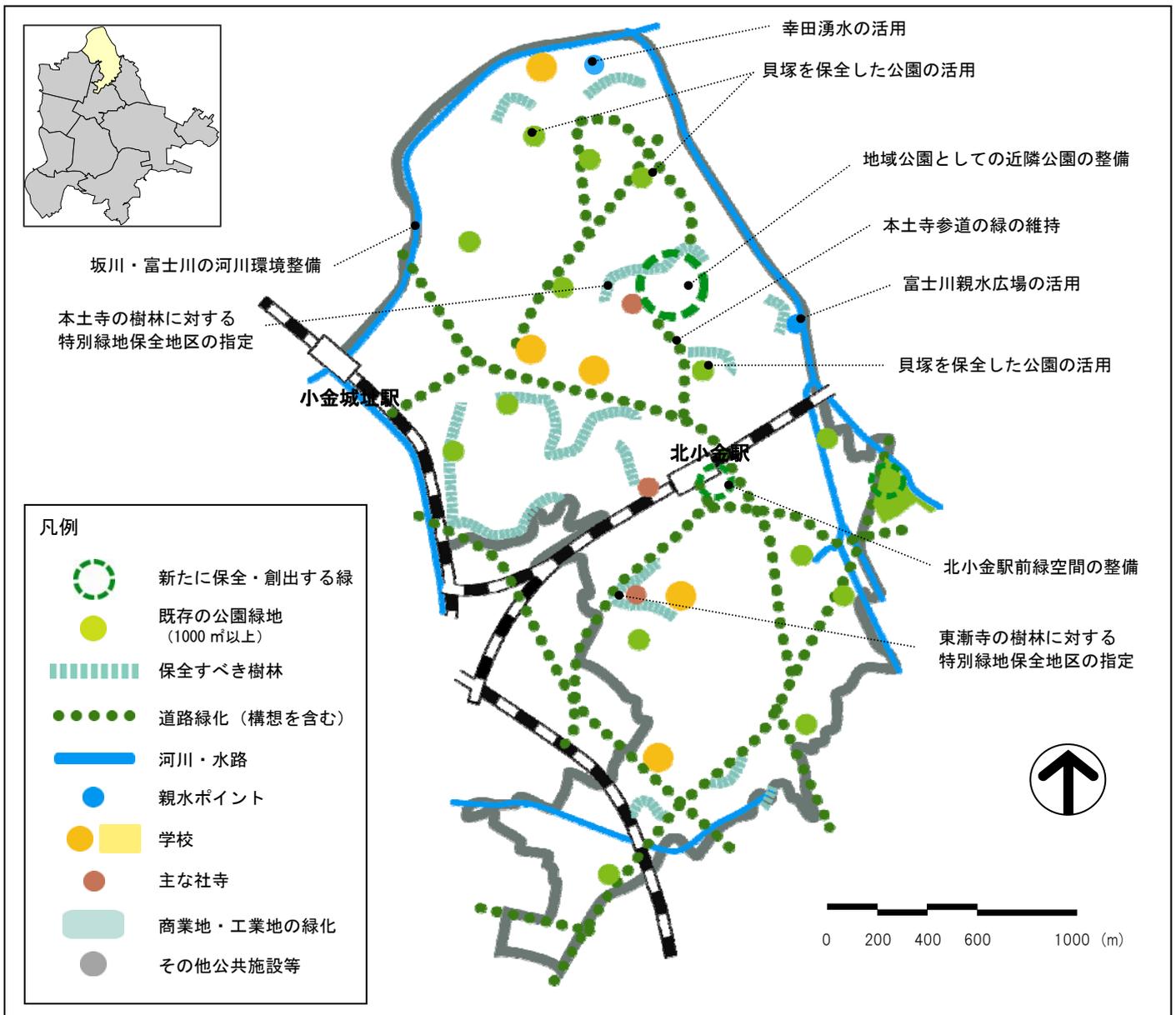
歴史的・自然的資源を活用できるよう、社寺や樹林地・公園を街路樹などでつなげていきます。

- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・小金の歴史を楽しむ緑と水辺の回廊づくり
- ・道路緑化の推進
- ・緑地協定の促進
- ・保全樹林地地区等の指定促進
- ・子どもの遊び場、生産緑地地区を活かした街区公園の整備
- ・主要道路沿線の緑化推進
- ・駅前緑空間の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・生垣緑化の推進
- ・街区公園・樹林の住民による緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・貝塚を保全した公園の活用



大谷口歴史公園

【計画の方針図】小金地域



⑧小金原地域

【緑の現況】

- ・公園や街路樹がよく整備された台地上の住宅地です。
- ・小金原公園周辺が地域住民の生活の中心となっています。
- ・北東部に上富士川周辺の自然や根木内城址があります。
- ・公園は半数以上が30年以上前に整備されたものです。
- ・ほぼ全域が住宅地のため、緑の量は他の地域と比較して少なくなっています。

【緑の課題】

- ・公園や広場はほぼ充足しているため、今後もこれらを維持し魅力的な空間にしていくことが求められます。
- ・緑の充足度の高いまちなので、緑の管理や緑化に対してみどりの市民力を活かした住民が参加できる体制づくりが求められます。
- ・住民が歴史や水辺にふれあえる空間を、上富士川や根木内城址を活かしながら創っていく必要があります。

【計画のテーマ】

成熟した緑にふれあえる喜びのまち

●ふるさと歴史ゾーン(P39 参照)

【計画の基本方針】

●完成された緑地体系の維持・向上

住民の公園に対する満足感を今後も持ち続けてもらうために、公園や街路樹を美しく維持し、よりよいものにしていきます。

- ・地域公園：小金原公園のリフレッシュ
- ・生産緑地地区を活かした街区公園の整備
- ・みどりの市民力による街区公園のリフレッシュ
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・市民農園の開設支援

●成熟したまちの中での緑の活動の促進

数多い公園や広場を活かした、市民による緑の活動を支援します。

- ・緑地協定の促進
- ・生垣緑化の推進
- ・緑の地域活動やボランティア活動による小金原公園の維持管理
- ・街区公園・街路樹の住民による緑の地域活動の促進

●松戸市の北のシンボルとなる根木内城址の保全・活用

柏市側からの松戸市の玄関となる根木内歴史公園を、「身近な自然とふれあえる場」「歴史を学び文化教養を広げる場」として、広く市民に愛され活用される公園にします。

- ・みどりの市民力を活用した根木内歴史公園の活性化
- ・3つの保全「城址の保全」「樹林の保全」「湿地の保全」
- ・3つの活用「城址の活用」「樹林の活用」「湿地の活用」



小金原公園



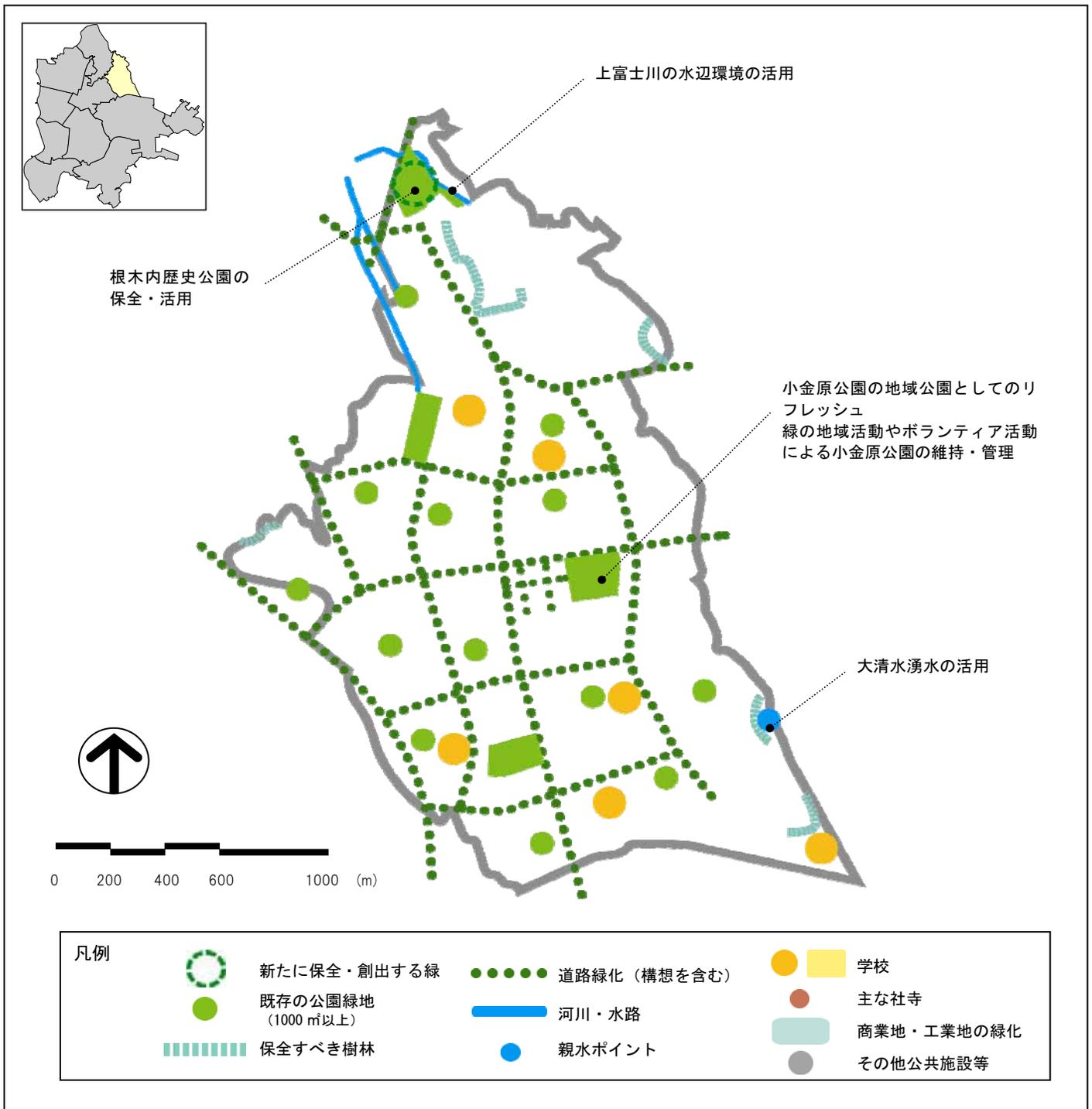
根木内歴史公園

●水辺とふれあえる空間づくり

自然環境の少ない地域内において、水辺の自然環境を持つ上富士川や湧水を活かした水辺空間を整備します。

- ・上富士川の水辺環境の活用
- ・大清水湧水の活用

【計画の方針図】小金原地域



3) 光輝くみどりのまち

光輝くみどりのまちは、市域の南東側に位置し、常盤平地域・東部地域・六実地域の3つの地域からなるまとまりです。



⑨常盤平地域

【緑の現況】

- ・常盤平・牧の原などの公園や街路樹がよく整備された住宅地と、緑に関する整備が不足している住宅地がみられます。特に常盤平の街路樹は市民の共有財産として知られるほど有名であり、さくら通りは日本の道 100 選に、ケヤキ並木は新・日本街路樹百景に選ばれています。
- ・北部は 21 世紀の森と広場を中心とした農地や樹林地が多く、市内でも比較的緑の多い地域となっています。
- ・八柱・常盤平・五香駅の3駅周辺が地域住民の生活の中心となっています。
- ・公園の半数以上が 40 年以上前に整備されたものです。
- ・松飛台・串崎新田付近に公園不足地があります。
- ・地域内の民有林が里やまボランティアにより維持・管理されています。

【緑の課題】

- ・金ケ作・千駄堀の樹林や農地が織りなす良好な環境の保全・活用が求められます。
- ・緑の充足度の高いまちなので、緑の管理や緑化に対してみどりの市民力を活かした体制づくりが求められます。
- ・市内の文化遺産と呼べる緑地や街路樹がよく整備されていますが、老齢木が多いため、これらの再生が求められます。
- ・公園などの豊富な緑の資源を有効に活用していくため街路樹などによる回廊づくりを進めることが求められます。
- ・大きな商業地や工業団地があることから、美観向上のための緑化だけでなく、周辺住宅地に対する環境の向上にも役立つ緑化の推進が求められます。

【計画のテーマ】

市民と育てる緑豊かな成熟したまち

●21 世紀の森と広場(P34 参照) ●ふるさと自然ゾーン(P38 参照)

【計画の基本方針】

●自然を背景にした緑のまちづくり

金ケ作・千駄堀の自然環境を保全し、地域の市民がこれらを活用できる空間を整備します。

- ・金ケ作・千駄堀の樹林の市民緑地の指定
- ・湧水の水源となっている金ケ作・千駄堀の樹林の保全
- ・保全樹林地地区等の指定促進
- ・千駄堀湧水広場の活用
- ・梨を中心とした観光農園の支援と市民農園の開設支援

●成熟したまちの中でのみどりの市民力による活動の促進

数多い緑地空間を活用した、市民等による活動を推進します。

- ・緑の地域活動やボランティア活動による金ケ作公園の維持・管理
- ・街区公園・樹林・街路樹の住民による緑の地域活動の促進
- ・緑地協定の促進
- ・里やまボランティアによる民有樹林地の維持・管理



21 世紀の森と広場

●より広範な街路樹による緑の回廊づくりの促進

常盤平を中心とした街路樹による地域の回廊づくりを促進します。

- ・市民財産となっている常盤平のサクラ並木・ケヤキ並木・マツ並木の保全・再生
- ・主要道路緑化の推進と沿道緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化の推進

●豊富な緑地空間のリフレッシュ

数多い公園などを周辺住民の意向にあわせてリフレッシュしていきます。

- ・地域公園：金ヶ作公園のリフレッシュ
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・生産緑地地区を活かした街区公園の整備
- ・駅前緑空間の整備とクロスロードパークなどの整備

●商業地・工業地の緑化の推進

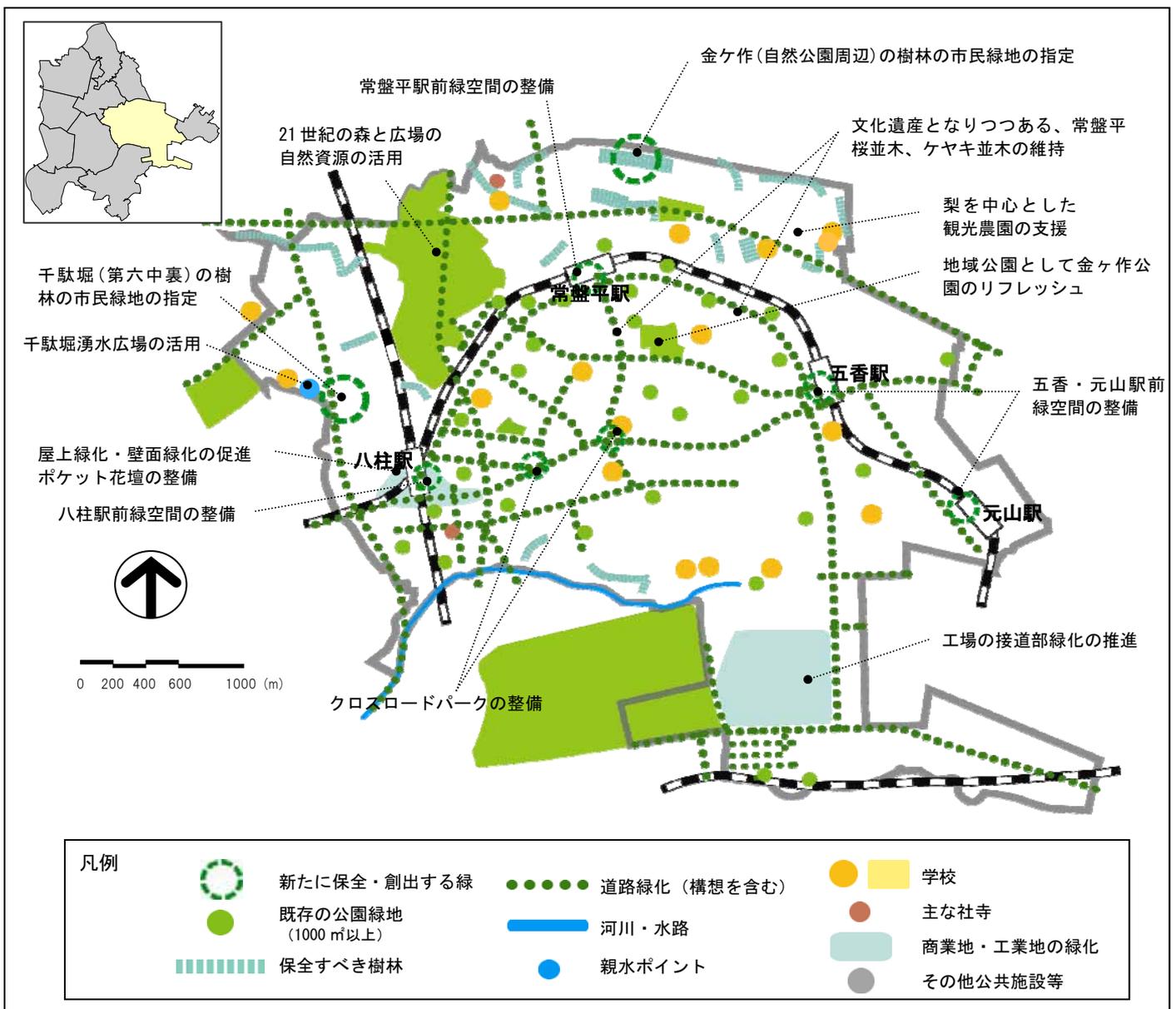
八柱・常盤平・五香駅周辺の商業地と、松飛台の工業地での緑化を推進します。

- ・工場の接道部緑化の推進
- ・屋上緑化・壁面緑化の促進
- ・ポケット花壇の整備



常盤平のケヤキ並木

【計画の方針図】常盤平地域



⑩ 東部地域

【緑の現況】

- ・北総鉄道駅周辺の新市街地以外は農地や樹林・八柱霊園などの最大の緑の量を持つ地域です。
- ・北総鉄道沿線の新市街地では、地区計画によって良好な住宅地がつくられようとしています。今後、地域の住民生活の中心となることが予想されます。
- ・国分川では河川環境が向上し、身近な水と緑の拠点としての役割を發揮しています。
- ・特に観光梨園が多い地域です。
- ・特に公園が不足している地域です。

【緑の課題】

- ・豊かな農地や樹林を活かした緑のまちづくりや住民の自然とのふれあいの場が求められます。
- ・豊富な樹林地の計画的な保全が求められます。
- ・台地上の最大の面積を持つ緑の資源として、八柱霊園の積極的な活用が求められます。

【計画のテーマ】

田園と自然が織りなす環境を楽しめるまち

●ふるさと田園ゾーン(P40 参照)

【計画の基本方針】

●良好な田園環境と調和のとれた市街地の形成

北総鉄道沿線の新市街地内の緑化により、周辺の自然環境と調和のとれたまちづくりを行います。

- ・新市街地での地区計画による緑化と緑地協定の促進
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・新市街地を中心とした街路樹ネットワークの整備
- ・良好な田園空間を楽しむ散策ルートの設定
- ・新市街地の計画的な公園の整備
- ・地域公園：(仮称)紙敷第一公園の整備
- ・東部クリーンセンターの公園としての活用
- ・生産緑地地区を活かした公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・駅前緑空間の整備

●良好な田園環境を支える樹林や農地の保全・活用

市街化調整区域の樹林・農地を計画的に保全・活用します。

- ・紙敷の樹林の市民緑地の指定
- ・市民緑地の住民による緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・保全樹林地等指定促進
- ・農地景観維持のための農業振興
- ・東松戸病院の緑化と周辺の斜面林の保全
- ・河原塚の遺跡を活かした公園の整備



東部クリーンセンターと東部スポーツパーク

●農と水辺に触れあえる空間づくり

農業や河川が持つ田園環境を体験的に楽しむことができる空間としていきます。

- ・観光梨園の支援
- ・市民農園の開設支援
- ・国分川の多自然型川づくりと散策路の整備
- ・秋山湧水の活用

●台地上の最大の緑の空間である八柱霊園の活用

台地上の最大の緑の空間である八柱霊園を、身近な緑地として活用ができるようにしていきます。

- ・八柱霊園の公園緑地としての活用
- ・八柱霊園の接道部緑化の促進

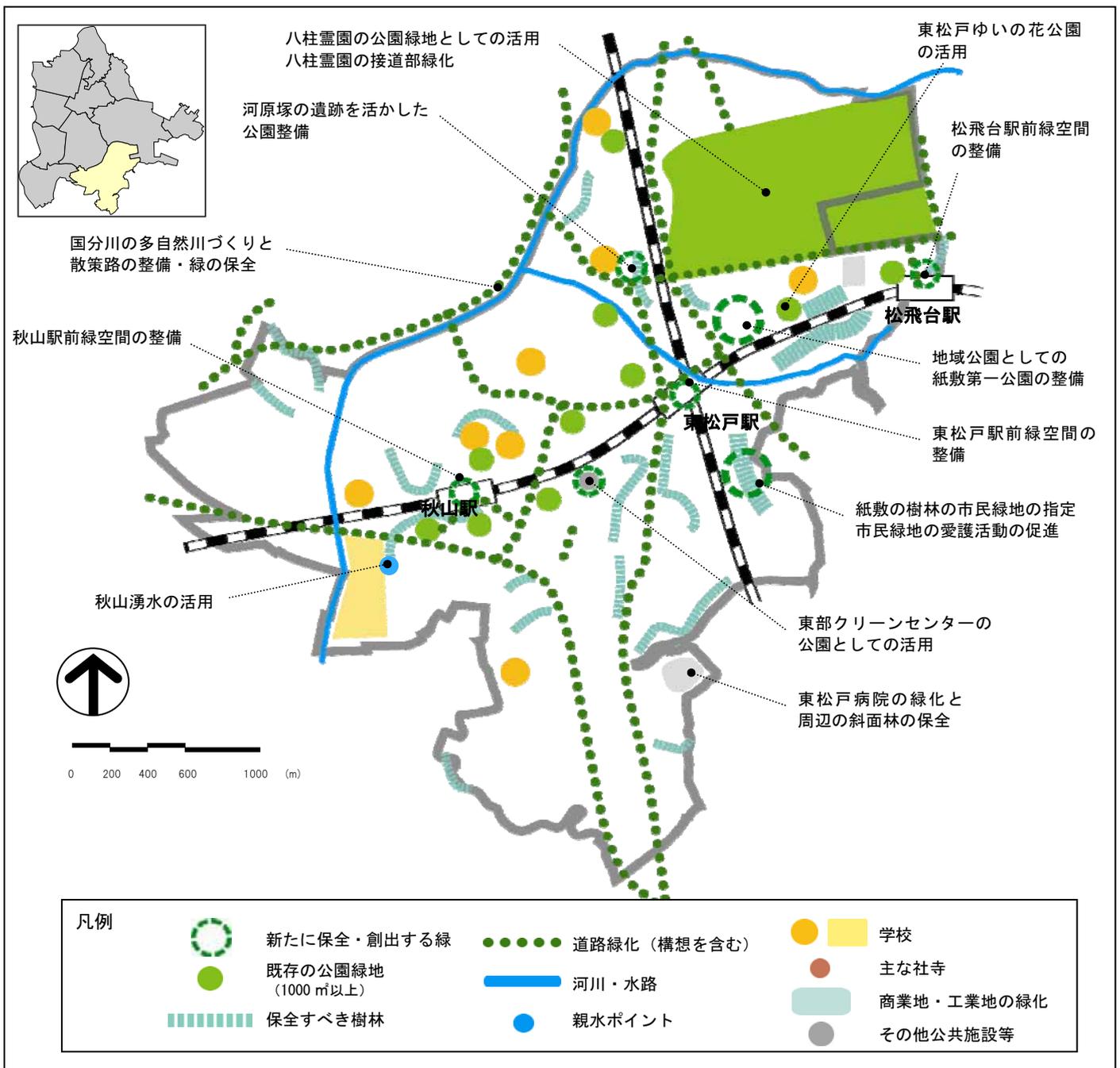
●東松戸ゆいの花公園の活用

東松戸ゆいの花公園を、緑の情報発信基地として活用できるようにしていきます。



八柱霊園

【計画の方針図】 東部地域



⑪六実地域

【緑の現況】

- ・公園や街路樹がよく整備された住宅地と、緑に関する整備が不足している住宅地があります。
- ・六高台では道路緑化が良好に行われていますが、地域全体にわたる緑のつながりとはなっていません。
- ・南部に農地が集中しており、大きな緑の要素としてこの地域の環境を支えています。
- ・特に公園が不足している地域です。

【緑の課題】

- ・六高台では、住民の公園や緑の資源の利用に配慮しながら、南部の農地を散策できるような歩行者空間整備をすることが望まれます。
- ・少しでも良好なまちづくりを行うために、公園緑地の整備や民有地の緑化の推進が求められます。
- ・豊富な農地を守ることで、緑の量の確保が望まれます。

【計画のテーマ】

自然と緑を市民とともに育てるまち

【計画の基本方針】

●街路緑化を中心とした地域の回廊づくり

地域内の公園や緑地を市民が緑の中で回遊できるよう、幹線道路を中心に道路緑化や既存街路樹・植樹帯のグレードアップを行います。

- ・道路緑化の推進
- ・野馬除け土手の保全と活用

●農地を活用した緑の空間の確保

生産緑地地区を活用して、公園などの緑の空間を整備します。

- ・農地を維持するための農業振興
- ・生産緑地地区を活かした公園の整備
- ・市民農園の開設支援
- ・梨を中心とした観光農園の支援

●市民とともに進める緑化推進による緑のまちづくり

積極的な市民の活動による住宅地の緑化により、緑の多いまちを創ります。

- ・地域公園：六実中央公園のリフレッシュ
- ・緑の地域活動やボランティア活動による六実中央公園の維持・管理
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園・街路樹の住民による緑の地域活動の促進
- ・生垣緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化
- ・緑地協定の促進
- ・こどもの遊び場を活かした街区公園の整備



野馬除け土手



六実中央公園

- ・松戸市クリーンセンターのオープンスペースとしての活用
- ・クロスロードパークの整備
- ・駅前緑空間の活用

【計画の方針図】 六実地域

